

疾患特異的iPS細胞についてのアンケートを2012年6月～7月に実施いたしました。
大変遅くなりましたが、アンケートの結果です。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。 2012年10月

アンケート回答者 30名

Q1 整備すべき疾患名(現在の計画は、5大疾病及び難治性疾患を対象としています)

	回答者 19 名
1 アルツハイマー病	6
2 パーキンソン病	4
3 癌	4
4 肝がん、膵癌、胃癌、大腸癌	1
5 糖原病1型、糖尿病	3
6 統合失調症	3
7 QT延長症候群	2
8 ダウン症	1
9 ネマリンミオパチー	1
10 ポリグルタミン病	1
11 ミトコンドリア病	1
12 リンパ脈管筋腫症	1
13 うつ病	1
14 その他(うつ病、統合失調症以外)の精神疾患	1
15 多発性硬化症	1
16 希少疾患	1
17 心筋梗塞	1
18 神経変性疾患(ALSPD)	1
19 筋萎縮性側索硬化症	1
20 脊髄小脳変性症	1
21 脳卒中	1
22 自己免疫疾患	1
23 自閉症	1
24 難治性筋疾患	1
iPS細胞を使った研究が有用であるならば特にこれとって限定すべきではない。	1

Q2 疾患iPS細胞を使用した研究を実施する際に、提供患者に関するどのような診療情報が付加されている事を希望しますか。(複数回答可)

	回答者 30 名
疾患名	28
年齢	24
性別	24
病歴	19
家族歴	16
生化学検査結果(肝機能、腎機能、血糖値等)	16
各種血球数	12
血清検査結果(各種抗体価等)	14

画像診断(CT, MRI, PET画像等)	13
病理診断(組織画像等)	17
ゲノム遺伝子情報	21
嗜好品歴(飲酒歴、喫煙歴等)	6
その他	
iPS細胞樹立の際に正常細胞の場合と異なる事情があれば、その詳細	1
可能な限り多くの情報が付加されていることが有益	1
ゲノム情報は遺伝子に異常がある場合	1
発症年齢	1

Q3 上記のような診療情報の付加された疾患iPS細胞を用いた今後のご自身の研究について、どのような目的が考えられますか。(複数回答可)

	回答者 29 名
病因・病態解明	26
創薬	19
その他	
再生医療	1
診断方法の開発	1
診断薬開発	1

Q4 所属機関

	回答者 30 名
大学	21
研究機関	8
病院	0
民間企業	1

Q5 その他、疾患iPS細胞バンク事業についてご意見がありましたらお聞かせ下さい。(文字数の制限はありません)

	回答者 6 名
将来的な研究ニーズも視野に入れ、着実にその充実を図ることが重要。将来的に、その多くを海外のバンクから入手しなければいけないような状況にならないようにしてほしい。	1
直接リプログラミングや分化誘導を容易にするベクター等を供与して欲しい(心筋細胞、内皮細胞、平滑筋細胞 etc.)	1
iPSのメタボローム解析データを知りたい。	1
とにかく患者試料は、公共性が高いという認識のもとバンク化を進める必要があると考える。	1
樹立時の発現プロファイルを付加して欲しい。	1
他国に遅れをとらることのないよう、国をあげて整備してほしい。	1